



平成27年10月15日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根  
(コード番号 6619 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 CFO 兼経営企画本部長  
竹 居 邦 彦  
(TEL 03 - 5436 - 7155)

## 本日の一部報道について

本日、一部の報道機関において当社設備投資計画について報道がなされておりましたが、これは当社が発表したものではありません。現時点において、LG Chem Ltd. (以下、LG化学という)からの生産ライン取得、生産設備の追加投資および量産出荷予定等については下記の通り決定しております。

### <内容>

#### 1. LG化学よりセパレータ生産設備2ラインを取得

ダブル・スコープグループ(以下、当社グループという)は、LG化学から以下の通りリチウムイオン電池用セパレータの生産設備2ラインを取得するとともに、関連特許等を含む技術情報の開示および技術支援に関する契約を締結致しました。

取得の方法：譲渡契約に基づき、LG化学のオーチャン第2工場から移設

当社グループでは韓国の子会社W-SCOPE KOREA CO., LTD. オーチャン第2区域に新たに建物を建設し、取得するラインを移設します。量産出荷開始は2016年上期中を予定しております。これらにより中期経営計画「Vision2017」の想定する設備投資計画を前倒しすることとなり、増加する顧客からの供給依頼に早期に対応することが期待されます。

本件に伴う設備投資の金額は合計40億円程度を想定しております。

#### 2. 第2区域での追加設備投資

当社グループでは上記2ラインに加え、W-SCOPE KOREA CO., LTD. オーチャン第2区域にセパレータ生産ライン2本の設備投資増強の検討に着手しました。これらは2017年中の量産開始を前提に、速やかに決定する予定をしております。

本件に伴う設備投資の金額は合計60億円程度を想定しております。

### <生産能力>

当社グループでは、上記1および2に加え、開示済みの第5号ライン(2016年8月量産移行予定)の合計5本の設備投資を進行させております。これらがすべて稼働した場合、現時点の生産能力に対し、約100%の能力増強になると想定しております。

### <その他>

この一連の設備投資は中期経営計画「Vision2017」の一環として、設定済みの銀行融資枠65億円および内部留保によって充当する予定であります。

以 上